

2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会を見据えた  
行政の暑さ対策に関する取組  
Countermeasure plans by governments against intense heat  
toward 2020 Tokyo Olympic & Paralympic games

内閣官房東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局  
Secretariat of the Headquarters for the Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games, Cabinet Secretariat  
参事官補佐 永長 大輔  
Assistant Director Daisuke NAGAOSA

キーワード：2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会 (Tokyo 2020 Olympic and Paralympic Games)、暑さ対策 (Countermeasure against intense heat)、熱中症 (heat illness)、アスリート (athlete)、観客 (spectator)

1. 2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会の概要 (競技種目、競技会場、競技日程等)

2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会 (以下「東京大会」という。) の開催まで 1000 日余りとなった。東京大会は、オリンピックが 7 月 24 日から 8 月 9 日までの 17 日間で 33 競技、パラリンピックが 8 月 25 日から 9 月 6 日までの 13 日間で 22 競技<sup>1)</sup> が、それぞれ実施される。図 1 に東京大会の概要を示す。そして、大会期間中は 1,010 万人の観客とスタッフが東京に集中し、大会ボランティアと都市ボランティア合わせて 9 万人以上<sup>2)</sup> が活躍すると想定している。東京では 1964 年にもオリンピック・パラリンピックが開催されている。1964 年の東京オリンピックとパラリンピック、実は 2020 年に開催される東京大会とかなり違いがある。まず、1964 年のときのオリンピックの開会式は 10 月 10 日に開催されているが、2020 年は 7 月 24 日とされている。真夏の開催となり、東京大会の大きな課題の一つが、暑さ対策となっている。また、参加国・人数については、1964 年には、オリンピックで 93 か国・地域、5,152 人<sup>3)</sup>、パラリンピックで 21 か国、378 人<sup>4)</sup> の選手が参加したとされている。約 50 年後の 2016 年に開催されたリオデジャネイロオリンピック・パラリンピック競技大会では、オリンピックで 205 か国・地域、11,000 人を超え<sup>5)</sup>、パラリンピックで 159 か国・地域、4,333 人<sup>6)</sup> となっており、オリンピックで倍以上、パラリンピックで 10 倍以上の人数の選手が参加するようになっており、1964 年に比べて大会規模がかなり大きくなったことがわかる。夏の大会でパラリンピック競技大会を 2 回開催するのは東京が初めてということでパラリンピックの成功が大会全体の成功といっても過言ではないとされている。

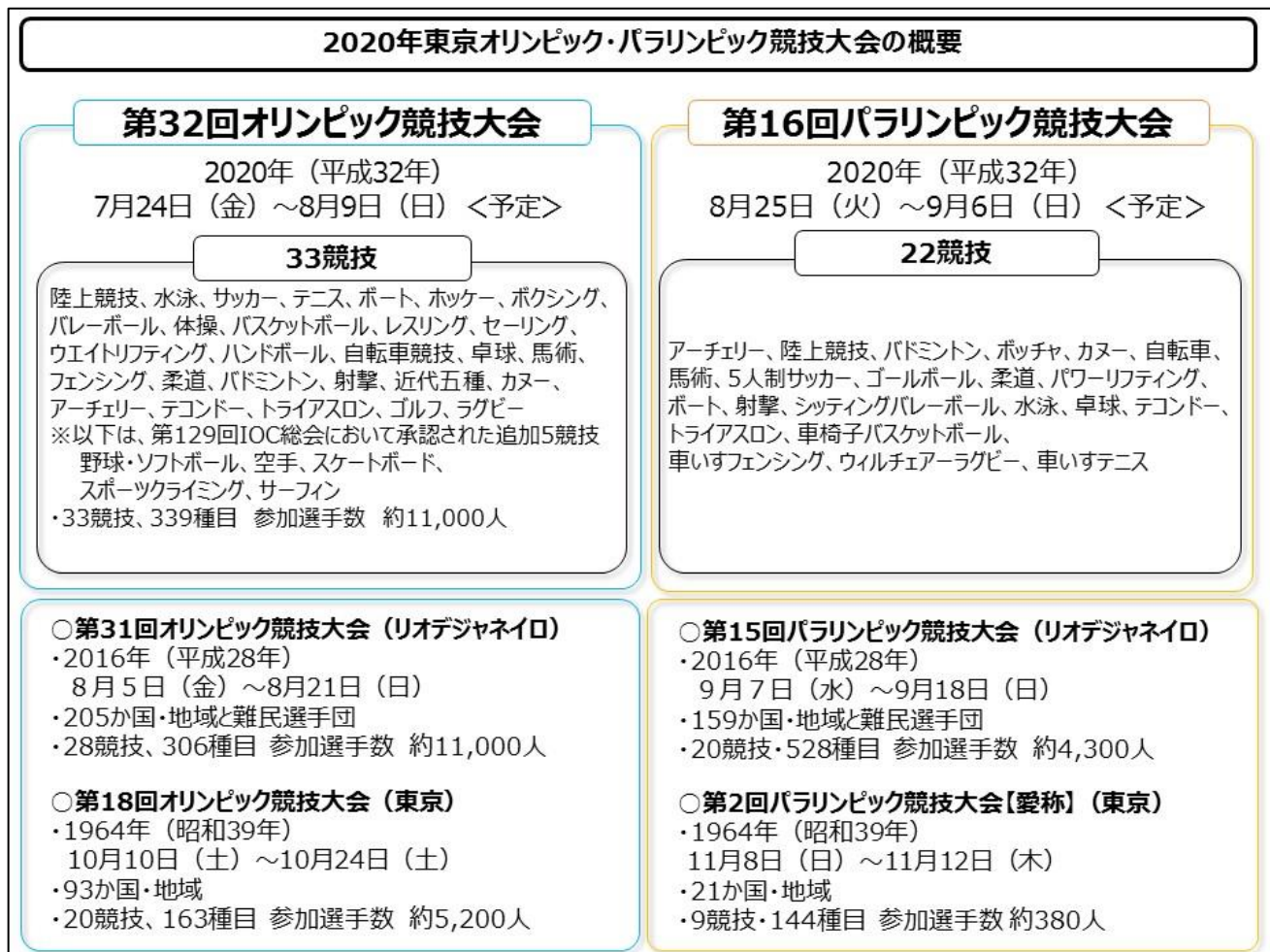


図1 東京大会の概要

## 2. 東京大会に向けた政府の体制

東京大会は、ホストシティである東京都を中心に開催され（競技会場は北海道、宮城県、福島県、茨城県、埼玉県、千葉県、神奈川県、静岡県にわたる）、東京都と JOC（公益財団法人日本オリンピック委員会）により設置された公益財団法人東京オリンピック・パラリンピック競技大会組織委員会（以下「組織委員会」）が開催準備や大会運営を行うことになっている。

平成32年東京オリンピック・パラリンピック特別措置法（平成27年6月3日法律第33号）（2015年6月25日施行）<sup>7)</sup>によって、東京オリンピック・パラリンピック推進本部（本部長；内閣総理大臣）が設置されている。ここで、国としてどういうふうに東京大会を運営していけばいいかという「2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針」（以下「基本方針」）<sup>8)</sup>が策定（2015年11月27日閣議決定）されている。なお、基本方針では、3. 大会の円滑な準備及び運営 ③暑さ対策・環境問題への配慮として位置付けられている。各省が横断的に東京大会に対し協力し、オールジャパンで東京大会を盛り上げていくための体制が整備されている。図2に東京大会に向けた政府の体制図、図3に2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針の概要を示す。

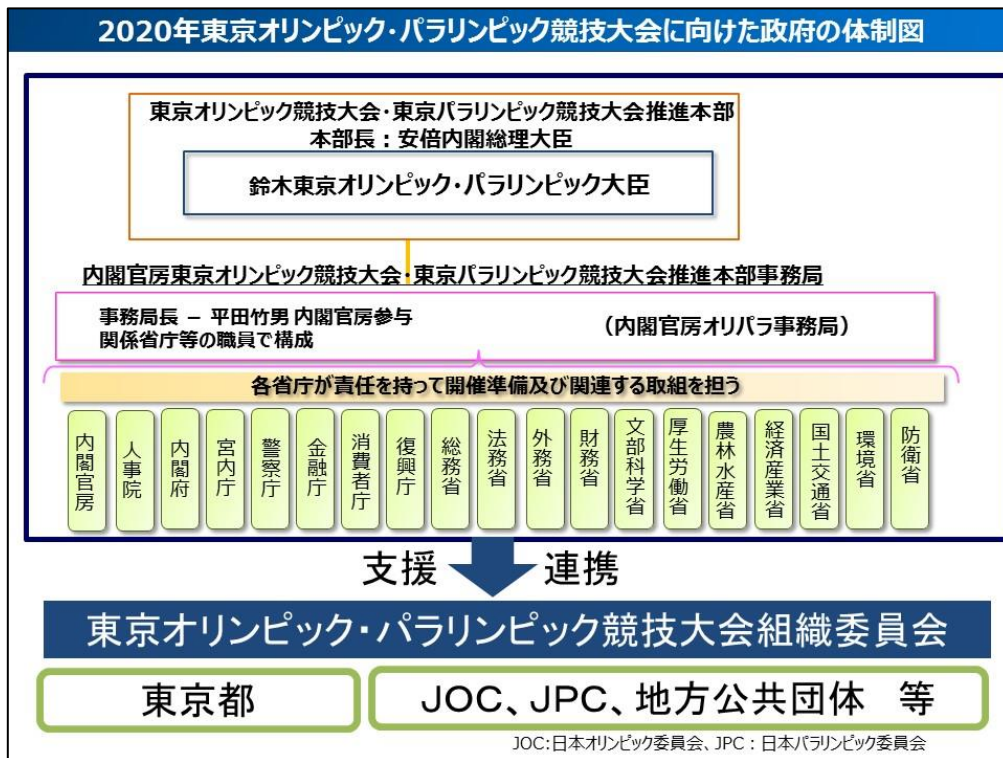


図2 東京大会に向けた政府の体制図

**2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針（平成27年11月27日閣議決定）**

平成27年11月  
内閣官房オリパラ事務局

**オリパラ基本方針の概要**

✓ オリパラ特措法に基づく閣議決定として、オリパラ大会関連施策の立案と実行にあたっての基本的な考え方、施策の方向を明らかにするもの。

**1. はじめに**

- ✓ 大会を契機として日本を再興し、成熟社会における先進的な取組を世界に示す。
- ✓ パラリンピックの開催は、障害者の自立や社会参加を促す大きな力。参加国・地域数についても、オリンピックとの差が縮まるよう、過去最多を目指す。
- ✓ 国際テロ・サイバー攻撃の脅威の高まり等、セキュリティをめぐる情勢は時代とともに変化しており、安全安心対策は必須。
- ✓ 世界の注目が日本に集まる機会を活かし、「復興五輪」として、復興の後押しとなる取組を進める。
- ✓ スポーツ、文化・クールジャパン等のイベントを通じたオールジャパンの魅力の発信、大会機運の醸成、外国人旅行者の地方への誘客拡大等を通じて、大会を国民総参加による日本全体の祭典とする。全国に大会の効果を行き渡らせ、地域活性化につなげる。
- ✓ 「強い経済」の実現、日本文化の魅力の発信、スポーツを通じた国際貢献、健康長寿・ユニバーサルデザインによる共生社会、生涯現役社会の構築に向け、大会の遺産（レガシー）を創り出す。
- ✓ 関連施策とその進捗状況は、「大会に向けた政府の取組」として公表する。

**2. 基本的な考え方**

**① 国民総参加による「夢と希望を分かち合う大会」**

- ✓ 大会の効果が東日本大震災の被災地を含む日本全体に波及し、国民全体に参加意識が醸成されるよう努める。
- ✓ パラリンピックをオリンピックと一体的に運営することを通じて障害者の社会参加の拡大を図る。

**② 次世代に誇れる遺産（レガシー）の創出と世界への発信**

- ✓ 高齢化社会、環境・エネルギー問題等多くの先進国に共通する課題を踏まえ、有形・無形の遺産（レガシー）を創出し、日本の力を世界に発信する。

**③ 政府一体となった取組と関係機関との密接な連携の推進**

- ✓ 組織委、東京都、会場が所在する地方公共団体と密接な連携を図り、オールジャパンでの取組を推進するため、必要な措置を講ずる。

**④ 明確なガバナンスの確立と施策の効率的・効果的な実行**

- ✓ オープンなプロセスにより意思決定を行うとともに、施策に要するコストをできる限り抑制する。

**3. 大会の円滑な準備及び運営**

- ✓ 全てのアスリートが最高のパフォーマンスを発揮できるよう、セキュリティの万全と防災・減災等の安全安心の確保、アスリート、観客等の円滑な輸送、量産対策・環境問題への配慮、新国立競技場の整備を進める。
- ✓ 日本人アスリートの活躍を通じて国民を感動の渦に巻き込めるよう、メダル獲得に向けた競技力の強化に取り組む。
- ✓ アンチドーピング対策の万全の体制整備を行う。
- ✓ オリパラムーブメントの普及、ボランティア等の機運醸成を図る。
- ✓ ラグビーワールドカップ2019と共通する施策について連携して準備を進める。

**4. 大会を通じた新しい日本の創造**

- ✓ 世界の熱い注目が集まる大会の開催を通じて、東日本大震災の被災地が復興した姿、全国の地域の魅力、日本の強みである環境・エネルギー関連等の科学技術を世界にアピールし、地方創生・地域活性化、日本の技術力の発信、外国人旅行者の訪日促進を図る。
- ✓ 大会はスポーツ立国の実現の好機。スポーツ庁が中心となって、競技力強化、アンチドーピング対策等、スポーツ基本法が掲げる諸施策の推進等に取り組む。
- ✓ 大会はスポーツの祭典のみならず文化の祭典。伝統的な芸術から現代舞台芸術、最先端技術を用いた各種アート、デザイン、世界中が注目するコンテンツ、メディア芸術、ファッション、和食・日本酒等の食文化、祭り、伝統的工芸品、和装、花、木材、石材、畳等を世界に発信する。
- ✓ 大会を弾みとしてスポーツ・運動による健康増進、受動喫煙防止、公共施設等のユニバーサルデザイン化・心のバリアフリーによる共生社会の実現を通じて、障害者・高齢者の活躍の機会を増やす。

図3 2020年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針

### 3. 東京大会を見据えた行政の暑さ対策に関する取組

東京大会は7月から9月の暑さが厳しい期間に開催される。特に、世界各国から我が国の夏の暑さに慣れていない多くの外国人や障害者が訪れることが見込まれることからソフト、ハード両面にわたりしっかりとした対策が必要である。

このため、政府は競技会場等関係施設とその周辺のみならず街づくりの一環として暑さ対策を進め、アスリート、観客等が過ごしやすい環境を整備するため、「2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会関係府省庁連絡会議」の下に、東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局長を座長とし、関係府省庁、東京都、組織委員会が構成員である「東京2020に向けたアスリート・観客の暑さ対策に係る関係府省庁等連絡会議」（以下「連絡会議」という。）<sup>9)</sup>を平成27年5月に設置した。そして、同年9月に当面の対策として「東京2020に向けたアスリート、観客等の暑さ対策に係る中間とりまとめ」（以下「中間とりまとめ」という。）<sup>10)</sup>を策定した。中間とりまとめの主な具体的対策は次のとおり。

1. 競技会場等の暑さ対策
2. 多様な情報発信の実施
3. 救急医療体制の整備
4. 暑さ対策に係る技術開発や熱中症対策等に係る予測技術開発等

情報発信については、平成27年11月に「外国人等に対する熱中症等関連情報の提供のあり方に係るワーキンググループ」<sup>11)</sup>を設置し、平成28年度より、外国人等に対し、日本の夏の気候の特徴、熱中症の一般的知識、熱中症の予防・対処方法、救急車・医療機関に関する情報等の熱中症等関連情報を順次発信している。

また、平成29年6月の連絡会議において、中間とりまとめに基づく、関係府省庁等が実施している施策の進捗状況と今後の取組を確認し、「東京2020に向けたアスリート、観客の暑さ対策に係る関係府省庁等の取組」<sup>12)</sup>をとりまとめた。取組の具体例としては、環境省による競技会場等の暑さ指数の測定、夏季のイベントにおける熱中症対策ガイドラインの改訂、スポーツ庁による新国立競技場の暑さ対策、国土交通省によるマラソン、競歩沿道等の暑さ対策、関係府省庁等による外国人向け熱中症関連情報の発信等が挙げられる。

各府省庁等において大会に向けた暑さ対策に係る取組を着実に実施するとともに、来年以降も効果的な対策を実施するため、年に1回程度、連絡会議を開催する予定としている。

政府以外の取組としては、東京都は、「東京2020に向けた東京都「暑さ対策」推進会議」<sup>13)</sup>を設置し、関係各局が連携を強化し、総合的に対策を進めている。

東京大会の成功に向けて、関係機関と連携し、暑さ対策にしっかりと取り組んでいく。

#### <参考文献>

- 1) 組織委員会ホームページ：<https://tokyo2020.jp/jp/games/plan/>
- 2) 東京都、組織委員会：東京2020大会に向けたボランティア戦略，P4，2016
- 3) JOCホームページ：[http://www.joc.or.jp/past\\_games/tokyo1964/](http://www.joc.or.jp/past_games/tokyo1964/)
- 4) 日本パラリンピック委員会ホームページ：  
<http://www.jsad.or.jp/paralympic/what/tokyo1964.html>
- 5) JOCホームページ：  
<http://www.joc.or.jp/games/olympic/riodejaneiro/news/detail.html?id=7831>
- 6) 日本パラリンピック委員会ホームページ：

<http://www.jsad.or.jp/paralympic/what/rio2016.html>

- 7) 平成 32 年東京オリンピック・パラリンピック特別措置法（平成 27 年 6 月 3 日法律第 33 号）  
<http://law.e-gov.go.jp/htmldata/H27/H27H0033.html>
- 8) 2020 年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会の準備及び運営に関する施策の推進を図るための基本方針  
[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020\\_suishin\\_honbu/pdf/kihonhousin\\_zenbun.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020_suishin_honbu/pdf/kihonhousin_zenbun.pdf)
- 9) 東京 2020 に向けたアスリート・観客の暑さ対策に係る関係府省庁等連絡会議  
[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020\\_suishin\\_honbu/atusataisaku/index.html](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020_suishin_honbu/atusataisaku/index.html)
- 10) 東京 2020 に向けたアスリート、観客等の暑さ対策に係る中間とりまとめ  
[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020\\_suishin\\_honbu/kankeikaigi/renrakukaigi/pdf/torimatome.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020_suishin_honbu/kankeikaigi/renrakukaigi/pdf/torimatome.pdf)
- 11) 外国人等に対する熱中症関連情報の提供のあり方に係わるワーキンググループ  
[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020\\_suishin\\_honbu/atusataisaku/index.html](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020_suishin_honbu/atusataisaku/index.html)
- 12) 東京 2020 に向けたアスリート、観客等の暑さ対策に係る関係府省庁等の取組  
[http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020\\_suishin\\_honbu/kankeikaigi/renrakukaigi/pdf/torikumi\\_290619.pdf](http://www.kantei.go.jp/jp/singi/tokyo2020_suishin_honbu/kankeikaigi/renrakukaigi/pdf/torikumi_290619.pdf)
- 13) 東京 2020 に向けた東京都「暑さ対策」推進会議  
<https://www.kankyo.metro.tokyo.jp/climate/other/countermeasure/suishinkaigi.html>